

第62回東海高等学校総合体育大会自転車競技大会  
大会特別規則

審判長 伊藤治郎  
競技委員長 帯金章太郎

**共通事項**

1. ヘルメット

- ①選手はJCF公認およびJKA認定（競輪用）ヘルメットを練習時も使用すること。公認シールが貼付されていないヘルメット、劣化・破損が確認されるヘルメット等の使用は認めない。
- ②JCF公認条件に「タイムトライアル系の競技においてのみ使用できる物」と注釈がついている製品は、下記の種目の競技時のみ使用を認める。
  - ・スプリント予選（200mタイムトライアル）
  - ・タイムトライアル
  - ・インディヴィデュアルパーシュート
  - ・団体種目

2. ヘルメットカバー

- ①トラック競技の団体種目を除いた種目全てにおいて使用する。
- ②ロード競技においては男子ロード用、女子トラック用のヘルメットカバーを使用する。

3. ギア制限

16歳以下の場合も、JCF競技規則ジュニアのギア比（7.93m）を上限とする。

4. 身体形態について

「身体形態上の理由による適用免除申請」については、該当者のみを記入する。なお、JCF競技規則を遵守する。

5. 重量制限について

JCF競技規則に定められた重量（6.8kg）を下限とする。

6. コミュニケ

コミュニケ等は指定された場所に掲示する。

**トラック競技**

1. 招集・検車

招集・検車はバック側出入り口付近に設置し、出走確認とケイリン・速度競走の抽選を行う。招集時間は個々のレースの15分前に行う。

2. ホルダー

スプリント、スクラッチ、ポイントレース以外の種目は競技役員が行う。

3. 1kmタイムトライアル…ホーム・バック発走で行う。

4. 500mタイムトライアル…ホーム側から単独走で行う。

5. スプリント

- ①予選はホーム側インフィールドよりスタートし、800m（2周）の距離で行う。

②予選の結果により1／4決勝（2回戦制）から行う。

#### 6. インディヴィデュアルパーシュート

タイムレースで行うので、追い付きが発生してもタイム測定のために完走すること。

#### 7. ケイリン

①周回数は5回で実施し、ペーサーの離脱位置は残り2周回のバックラインとする。

②勝ち上がり方法は以下の通り

- ・1回戦各組上位3名が決勝へ
- ・敗者復活戦上位2名が決勝へ

8. スクラッチ…距離は8kmで行う。

9. ポイントレース…距離は24kmで行う。

#### 10. スクラッチ、ポイントレースの共通事項

①指定されたレーンに先着順で、スタート位置につく。

②選手は各校のホルダーに支えられた状態で、約半数がそれぞれインレーン、アウトレーンに並ぶ。

③ただし、ヘルメットカバー（白）1番選手はインレーンの先頭につく。

11. プログラムに記載されてる1kmタイムトライアルとインディヴィデュアルパーシュートのHとBは、ゴール位置を示す。

#### 12. カウントダウンについて

タイムレースにおけるカウントダウンは、セット後12秒で実施する。

### ロード競技

#### 1. 自転車検査

①スタート前 開始式終了後、ヘルメット検査と同時にギア比検査行う。

②フィニッシュ後 完走者のギア比検査を行う。

#### 2. 距離および走行について

①距離 男子 5km×8周回 40km

女子 5km×3周回 15km

②完全交通規制された周回コースで実施するが、スタート直後、大会運営上の理由により集団をコントロールする場合がある。

#### 3. 補給について

①飲食物の補給は認めない。

②機材の補給（交換等）はホームストレッチ付近のみ許可する。

③ボトルやゴミ等の投棄は認めない。

④スタート付近以外のコース上への立ち入りは認めない。

#### 4. 関門での打ち切り

関門所はフィニッシュ地点とし、毎周回先頭がバック地点を通過した時、関門所を通過していない競技者を打ち切りとして除外する。